

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270201203
法人名	医療法人社団 鳳雄会
事業所名	グループホーム・ゆうゆう
所在地	千葉県花見川区懐橋町12-3
自己評価作成日	平成29年2月6日～平成29年2月27日
評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	平成29年3月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1	入居以前の生活習慣をできる限り残しその人なりの生活パターンに合わせゆとりをもって支援する。
2	食事においては、旬の食材や産地直送米を使用している。盛り付けも工夫し器にもこだわりを持って目でも楽しんで頂ける様支援している。また嚥下困難な方に対してミキサー食、とろみ食と食事形態の工夫を行っている。
3	浴室は広く、又浴槽から外の景色が見えるようになっており、快適な入浴を楽しんでいただいている。自力歩行が困難な方でも安心して入浴できる様リフト浴を設置し支援している。
4	同法人(老人保健施設、特別養護老人施設等)との合同行事へ参加でき、又グループホームで生活困難になった時(医療面)同法人へのご案内ができる様最後まで関わりをもって支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームゆうゆう」の施設内は十分な介助スペースを設けており、入居者が安全に生活できるよう配慮した造りとなっている。また、機能面にも工夫がされており、ユニット間の交流や支援業務の円滑化が図られている。季節に応じた行事や外出会等を企画・実施しており、家族や地域住民の協力を得ながら、入居者の楽しみを支援している。日頃から地域に根差した運営を心掛けており、近隣の同法人・系列法人の施設とは、行事の充実化・地域との交流・柔軟なサービス等で連携を図ると共に、市のグループホーム協会に参加し、市と意見・情報交換を行う等、地域の問題解決に向け取り組んでいる。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念にある「優しく触れ合う」「尊厳の尊重」等に対して日ごろ職員間同士声掛け合う様、管理者と職員は共有している。「基本理念」は職員がいつも目につく場所に掲示している。	「個人の尊厳の尊重」「ゆとりを持って、やさしくふれあう里づくり」と言う事業所独自の理念を掲げており、施設内に掲示している。定期的に研修や会議等で取り上げており、全職員が共通理解を持ち、理念に基づいた支援の実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方で大正琴、民謡、フラダンス等をボランティアで活動されている方々が施設行事等でお手伝いとして来ていただいている為声掛けしながら交流を図っている。	日頃から近隣住民とは挨拶を交わす関係が構築されている。地域行事の参加・施設行事への地域住民の招待・ボランティアの受け入れ等、地域と交流促進に取り組むと共に、地域の協力や理解も得られている。また、乳児園児や障害者施設の児童との交流等、世代間交流にも取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方を招いての合同行事等で認知症の人への理解を求め、支援の仕方について説明している。又事例に基づき意見の交換を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	地域の方、ご家族の方、民生員、あんしんケアセンターの方の参加を促し回数等は少ないが議題に沿って話し合いを行っている。時には薬剤師の方に出席して頂き服薬の仕方について講義をして頂いている。	地域包括支援センター職員・民生委員・地域住民・入居者・家族・施設職員等を構成員として、運営推進会議を開催している。会議では、施設の活動報告を行い、施設理解の促進に努めると共に、意見・情報交換を行い、サービスの質の向上に活用している。	開催回数の増加を検討し、施設運営の透明性の確保及び外部からの意見・提案の機会を増やす等、よりサービスの質の向上につながるよう取り組んでいただく事を推奨します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	千葉県高齢施設課主催の研修、GH連絡会を通じて市町村との連携を図っている。又特別な状況があった時は直接高齢施設課へ電話して指示を仰いでいる。	市とは、日頃から業務全般における相談や情報交換を行う等、連携を図っている。また、千葉県グループホーム協会に参加しており、協会を通じて、意見交換や情報の共有を行う等、共に課題解決向け取り組み体制が構築されている。	

【千葉県】グループホーム ゆう・ゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	生命の危険性が無い限り拘束はしないケアについては職員会議等を通じ管理者が研修している。玄関の施錠については夜間帯は職員が1人になるので19:30以降は施錠せざるを得ない。	身体拘束排除におけるマニュアルが整備されていると共に、外部・内部研修も実施しており、全職員が身体拘束排除における意義を理解している。玄関は日中施錠せず、チャイム等の活用や見守り方法の徹底を行い、一人ひとりに即した安心・安全に配慮された生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内研修を行い、身体的虐待はもとよ言葉の虐待を見過ごさない教育を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部等の研修により「権利擁護」「成年後見」の言葉は理解しているが、必要性をもって活用できる現状は無い。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にキーパーソン、保証人の方に管理者が重要事項に基づき説明し納得していたている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族が些細な事でも言いやすい様に何気ない会話で雰囲気作りをしたり玄関のカウンターに意見箱を設けている。	意見箱や苦情・相談窓口の設置及び、家族の面会時等で意見・要望を確認している。また、運営推進会議や家族会等を活用すると共に、家族との信頼関係構築に努める等、家族が意見・要望を言い易いような環境整備に取り組んでいる。挙げた意見・要望は、会議にて周知・検討を行い、適切な改善・情報の共有を図っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主に職員会議で意見を聞きく事が多いが個別対応する機会も多い。	定期的に会議を開催し、職員からの意見や提案を確認している。また、日頃から管理者は職員と個別に接する機会を持つ等、職員の意見・要望・相談等の把握に努めている。グループホーム協会開催の研修や交流会等を通じて得られた意見や情報を施設運営やケアサービスの向上に活かしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半月前から希望休を提出してもらい、可能な限り受け入れている。賞与、昇給等で職員の実績を評価している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は勤務時間として認めている。できる限り全員に参加してもらう為、順番で受けてもらい内部研修につないでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会の世話人をやっている為、他の事業所との交流は多い。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が困っている事、不安になっている事、要望等を確認した上でケアプランに反映し、サービスを提供後も注意深く見守りながら安心して生活していただける様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時の要望を十分に聴き取り、サービス開始し、サービス開始後も本人の変化状況は常に報告している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族がなにを困って、何を不安に思い要望しているのか、優先させなければならない項目を見極めサービスへ反映させている。他のサービスについては随時対応できる様努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者が今まで生活していた生活習慣やその能力に応じ職員と一緒にいる事で暮らしを共にする関係を築いている(例)皿洗い洗濯物をたたむ。廊下の拭き掃除、プランターでの野菜の栽培等がある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と外出(外食)の機会や定期的な面会に協力していただいている。季節ごとの行事に家族の参加を促し家族同士、家族と職員との関係が築ける様努めている。【例】クリスマス会、夏祭り。花見。等々)		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の了解の下、本人の友人、知人との面会、外出をする事もある。	地域の商店への買い物や地域行事への参加等、入居者の希望に添った柔軟な外出支援を行っている。また、家族との外出・外泊等は自由となっており、家族との関係継続も支援している。友人との交流や墓参り等、一人ひとりの生活習慣や交友関係に配慮しており、良好な関係継続の支援に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩時や外出時(病院受診もある)車いす利用者の車いすを一緒に押しもらい、お互い助け合える環境を作っている。プランターで野菜栽培も職員と利用者の何人かで協力しあっている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご家族の知人だったり身内の方の入居相談を受けている。本人がGHから同法人の老健へ転所された方等は現状、経過を知る事ができる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思表示ができる利用者の方に対しては暮らし方の意向、希望を聞き出し、できる限りその意向に沿った支援をしているが意思表示困難な方は今までの生活歴等を家族から得た情報で支援している。	契約時に本人・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認し、記録している。入居後は、家族との話し合いや、日々の生活観察・会話から一人ひとりの意向や思いを汲み取り、より新しい情報の確認に努めている。会議にて本人本位で検討し、入居者の意向に沿ったサービスの提供に努めている。	

【千葉県】グループホーム ゆう・ゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族からわかる範囲で情報を収集し、デイサービス等で他のサービスを受けていた方は情報提供書を頂ける様協力をもとめている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活や身体的な状況は介護記録、健康チェック表、排泄チェック表に記録し、朝、夕の申し送り、連絡ノートで職員全員共有できるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネジャー、計画作成者が中心となり、介護職員からの意見、医療機関等の関係者、ご家族の要望等を元に介護計画をたて、6ヶ月後モニタリングし計画の見直しを行っている。本人の変化があればその時に見直す。	本人・家族から確認した意向や医師・看護師・職員の意見を基に全職員で話し合い、介護計画を作成している。また、定期的に目標の達成状況の確認や評価を行い、必要に応じて見直しを行っている。申し送り票や連絡ノートを活用しながら、入居者の生活に配慮した介護計画の作成に努めている。	遠方の家族であっても、介護計画の説明を行った際には必ず、日付・署名・捺印をもらい、適切な記録の整備に努めて頂く事を期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のチェック表(介護記録、健康チェック表、排泄チェック表等)に記録し、連絡ノート等を活用し日々の様子やケアの実践、結果を職員で共有すると共に介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同法人の施設との連携、協力体制が整っており、その時の本人のニーズに柔軟な対応ができるようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のコンビニに買い物、同法人の施設にある喫茶店の利用、ボランティア(民謡、フラダンス等)の方の訪問により楽しんで頂いている。ご家族の意向により訪問リハビリ(医療保険利用)も利用している。		

【千葉県】グループホーム ゆう・ゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当GHの協力病院を受診するか、入居前のかかりつけの病院をそのまま受診されるかは自由に選択できる様にしている。協力病院からの往診時に健康チェック表を元に相談ができる体制にある。(往診は月2回)	施設の提携病院や希望のかかりつけ医への受診が可能になっていると共に、定期的に内科や歯科の往診も実施しており、適切な医療受診が行われている。提携病院とは、緊急時・急変時においては24時間体制で協力が得られるよう連携を図っている。医療関係の記録を連絡ノート等に記載し、職員への的確な情報伝達に努めており、状態変化に応じて迅速かつ適切な支援が行えるよう体制を整えている。必要に応じて訪問マッサージを行っており、身体機能の維持及び向上に繋げている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当GHには看護師を配置していない為、協力病院の医師、看護師との連携を密にして、相談ができる体制にある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の介護サマリーを元に入院前の状況を説明し月2回の往診時のカルテ等で利用者が安心して治療できるよう担当医とも常に相談ができる関係にある。緊急時には休診日、時間帯を問わず受け入れをして頂いている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合と終末期のケアについては説明し納得して入居して頂いている。GHの設備、職員の配置等においてGHで、できる範囲かどうか主治医とも相談の上支援している	終末期・重度化に関する指針を明文化しており、契約時に入居者・家族への説明も行っている。重度化した場合には、入居者・家族の意向を確認しながら、安心して納得が得られる支援方法の検討を行うと共に、日頃から提携病院の医師や看護師等と連携を取る等、状況の変化や希望に応じて適切な支援が行えるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応のマニュアルを作成し、職員会議等で定期的に研修している。利用者の急変時においては申し送り等で初期対応の指導を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時マニュアルを作成しそれに沿っての勉強会、訓練を定期的に行っている。火災通報装置、スプリンクラーの設置と消防署への通報も直結している。又職員非常呼集要領も皆が常に目の届く所に掲示している。	災害時マニュアルが整備されており、避難経路図の掲示や非常階段等、複数の避難経路が確保すると共に、火災通報専用電話機・スプリンクラー等も設置されており、災害時・緊急時に備えている。年2回、消防署立会いのもと、夜間想定を含めた消防避難訓練を実施し、避難方法の確認を行っている。近隣には消防署・同法人の老人保健施設・養護施設等が有り、協力体制が構築されている。食材や飲料水の備蓄や井戸水の確保等、災害時対策の整備も行っている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の生活歴、性格を踏まえた対応、認知症で意思の疎通が困難な方であっても人格を尊重し、言葉かけについての指導を常に行っている。	「個人の尊厳の尊重」を理念に掲げ、施設全体で取り組んでいる。また、プライバシー保護や接遇に関するマニュアルの整備や研修で周知を図り、全職員が会話や介助方法等に細心の注意を払う等、入居者のプライバシーに配慮し支援が行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	共同生活を送る中で可能な限り本人の希望、自己決定ができる様努めている。意思表示が難しい方は、自分がその方の気持ちになって接する様心かけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には日課に沿った生活を送っていたがその時の本人の体調、気分等を考慮しその方、その方のペースに合わせ過ごして頂ける様臨機応変に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日、同じ服装にならない様、夜勤者が朝コーディネートしている。本人の希望があれば優先する。夜洗顔して化粧水、乳液が欲しいと希望する方には家族の了解の下買いそえる。		

【千葉県】グループホーム ゆう・ゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	契約時、利用者本人の好きな物、嫌いな物を聞き把握している。職員と一緒に料理はしないが、食事の後片付け(皿洗い、食器拭き等)は職員と一緒にやっている。 食事内容として季節の物を提供している	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備・片付け・調理等を職員と協働で行っている。入居者の希望や旬の食材等を考慮しながら、職員が献立の作成や買い出しを行っている。定期的に外食会・行事食・誕生会等を企画・実施しており、調理方法・盛り付け・提供方法に工夫を凝らす等、食に対する様々な楽しみを提供している。また、家族の参加もあり、食を通して外部の人達との交流も図られている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事摂取量、水分摂取量を毎日記録し、嚥下、咀嚼機能が低下している方には食事形態を工夫し水分量が不足しがちな方には好みの飲み物やお茶をゼリーにして提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日朝夕に口腔ケアを行い、義歯使用の方は夕食後義歯を預かり、入れ歯洗浄で洗浄、消毒をしている。又訪問歯科と連携し、口腔内の清潔保持に努めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用しながら個々の排泄パターンを把握できる様努め、夜間帯だけトイレまで間に合わない方に居室内にポータブルトイレを設置している。	排泄チェック表を活用しながら、一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導・声掛け等を行う等、適切な排泄支援がなされている。夜間においては入居者の状況や安全に配慮しながら、トイレ誘導・ポータブルトイレの活用等、排泄の自立に向けた支援を行っている。また、水分摂取の励行・乳製品の活用・運動の実施等を通じて、自然排便を促すと共に、必要に応じて、医師と相談しながら、適切な排便コントロールを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の水分摂取量の表をもとに(一日の水分量1000ccを目やす)確保している。朝は必ず牛乳、ヨーグルト等の乳製品を提供している。往診時に主治医に相談し下剤を使用しながら便のコントロールを行っている。		

【千葉県】グループホーム ゆう・ゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ユニットごと曜日を決めて入浴を行っているが本人の状態や曜日は変更している。入浴する時間もその日の体調、その人の気分に合わせ入浴できるようにしている。	入浴日は決まっているが、入居者の希望に応じて回数や時間帯等、柔軟に対応している。入居者の身体状況に応じた介助方法の工夫やリフト浴槽の設置等、一人ひとりの身体能力に合わせた入浴支援を行うと共に、全職員が入浴マニュアルにて情報の共有を図り、入居者の状況・希望に即したケアの統一を図っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	特に消灯時間を決めてはいないので夜眠るまで読書する習慣があった方には自由に続けてもらっている。食事が終わってもリビングでテレビを鑑賞したり歓談しながら過ごされている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各ユニットに薬担当を配置し薬の管理を行っており個人別に現在使用している薬の説明書をファイル化し活用している。又往診時や外来受診時に処方された薬は受診記録、連絡ノートへ記載し全員がわかる様にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ホーム内の清掃を職員と一緒にしたり、建物の周りの草取りをしたり食事の後の食器洗い等個々の能力や残存機能に合わせた役割をもって過ごして頂けるよう支援している又ゲームしたり外食等も職員と一緒に楽しんでいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天候、本人の体調にもよるが近隣へ散歩へ行ったりドライブに出かけるようにしている。散歩しながら近隣の喫茶店で職員と一緒にコーヒー飲む時もある。ご家族の協力の下、外泊、外食も自由にして頂いている。	入居者の希望・体調・天候等に応じて、散歩や買い物等の外出を支援している。また、同法人所有の福祉車両の活用し、外出行事を企画・実施しており、家族ボランティア等の参加もあり、入居者・家族・職員が戸外での楽しみを共有できるよう配慮している。他にも、法人施設の喫茶店へ出かけることもあり、地域の人達との交流の場として活用している。	

【千葉県】グループホーム ゆう・ゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方はいない。本人の居室には現金は置かない様、契約時に説明している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所にある電話をいつでも利用できる様にしている。ご家族が留守の場合はその旨説明し後でかけ直す事を伝える。手紙等も必ず本人に渡す様にしているがご家族から渡さないで下さいとの要望がある方もいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有のスペースは車椅子でも自由に動けるよう広く設計され廊下の壁に利用者がレクで作成した季節感を感じさせる作品を展示している。室内の温度、湿度もその日に合わせ調節している。浴室から外の景色も楽しんで頂けるようガラス張りにして快適な入浴を提供している。	施設内は全面バリアフリーとなっており、十分な介助スペースが確保され、入居者の安全面に配慮した造りとなっている。リビングには、静養室が設置されており、入居者の状況に応じた活用がなされている。建物が囲むようにウッドデッキが配置されており、各ユニットからの出入りや往来が自由となっており、日光浴や思い思いにくつろげるような空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下、リビングにはそれぞれ自由に過ごす事ができるよう長椅子、ソファを置いている。又ウッドデッキにも座って気の合った利用者同士お喋りしたり日光浴ができるよう椅子を設置している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に今まで使い慣れている物をできる限り入れてもらって環境の変化を最小限にできるよう配慮している。仏壇をもってきている方もいて朝の供え物は職員が準備している。	入居者の希望に応じて馴染みの物を持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。また、好み・生活歴・身体状況に応じて居室の使い方は自由となっており、一人ひとりの個性が反映された居室となっている。全居室にエアコンが設置され、職員により、適切な空調管理がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は全てバリアフリーになっている。車椅子が自由に回転できるよう廊下の幅も広く、ドアも引き戸に設計されている。玄関、トイレ、浴室等のスロープに手すりを設置し安全に歩行ができるようにしている。トイレの場所もわかりやすいよう大きな字で案内している。		